

国保税の値上げを示唆(市民部長)

次彦

通信

No. 159

2005年10月5日

日本共産党大分市議団

払いたくても

払えない国保税

「所得の1割・2割が国保税。食べなくても払えない」「収入がないのに国保税がかかる。どうして払えというのか」など、高い国保税に市民生活が圧迫されています。



赤字を理由に

国保税の値上げか

日本共産党市議の「値上げをするな」という質問に、市民部長は「平成10年からすえおかれていた医療費分(など)、見直しの検討をすすめることが喫緊の課題」と、医療費の増大などによる赤字を理由に、値上げを示唆しました。

「値上げは許せない」の声を

ひろげ、市民生活を守りましょう。

アスベスト調査・対策を要求

相談窓口の

充実を

7月27日から8月5までの8日間、大分市はアスベストに関する「相談窓口」の開設しました。健康や建物について184件もの相談が寄せられています。その後も相談が寄せられています。



広次忠彦議員は、「相談窓口」を各課におくだけでなく、総合的な相談ができる体制をつくるように要求しました。

状況調査の徹底と

除去対策の強化を

市の施設にもアスベストを使った建物があることがわかっています。早急の対策を求めました。

民間の建物では500㎡以上の建物について調査がされていますが、十分ではありません。徹底した調査をすすめること、撤去にあたっては国やアスベスト製造業者など原因企業に、撤去費用の一部を負担する制度を要求すること、市独自対策をとることなどを要求しました。

アスベスト撤去

市の独自融資制度を

アスベストを撤去するには専門的な技術などが必要です。商店や工場の建物にアスベストが使用されていても、費用の問題などで撤去できない事態も考えられます。広次忠彦議員は、市独自の無利子融資などをつくり、安全に撤去できる体制をつくるように求めました。

最終処分も重要課題

「アスベストのよう落ちたものをついたコンクリートが落ちていた」という情報も寄せられています。きちんと撤去できるように行政指導を強めるとともに、最終処分もきちんとおこなうことが求められています。

広次市議 9月の活動メモ

- ③ 福徳学院保護者会役員会に参加(1日には三役会議)。
- ⑥ 台風14号被害調査。
- ① 9月議会開会。
- ① 市議会本会議で一般質問にたつ。
- ① 穂田東中学校体育大会 参観・激励。
- ② 市議会本会議(一般質問)に出席。
- ② 交通安全フェアに交通指導員で参加。敷戸校区六自治会合同敬老会・来賓祝電。
- ② 青年学生との交流集會に参加。
- ② 市議会各常任委員会開催・建設常任委員会に出席。
- ② 市議会本会議で反対討論にたつ。

健康診断されていますか

毎年、健康診断と検査をしています。発端は検便で再検査になったことからです。「だいじょうぶ」と思っていたのに、そのときはちょっとショックでした。でも健康診断と検査を受ければ、なにかあっても、早期治療も可能です。おかげで、元気に仕事をすることができず。みなさんもぜひ健診を(談)